

■ひろしま医療人・九条の会結成3周年記念■

憲法のつどい12009ひろしま

湯浅誠さん



派遣村から 見える 戦争と平和

この夏の総選挙で自民・公明は歴史的な大敗。政権交代が実現しました。

11年連続3万人超の自殺者、1000万人を越える年収200万円未満のワーキング・プア、派遣切り被害者、ネットカフェ難民、ホームレス、餓死者…。

今回の選挙結果は、抑圧され続けた人々からの与党・政府に対する「しっぺ返し」だったといっています。

新しい政府とその与党には、こうした生活破壊の流れを転換し、人々の生活を再建し、守る役割が期待されています。恐怖や貧しさからまぬがれて平和に生きる権利（日本国憲法前文）をどう現実のものとするのかが問われているのです。

派遣村村長をつとめた湯浅誠さんが、「貧困」の中にかいま見える「戦争と平和」そして日本国憲法について語ります。

湯浅誠(ゆあき まこと)
1969年生まれ。反貧困ネットワーク事務局長。NPO法人自立生活サポートセンターもやい「事務局長。東京大学大学院法学政治学研究科博士課程単位取得退学。1995年より野宿者(ホームレス)支援活動を行う。昨年末の派遣村村長として注目を集める。
著書に『反貧困 すべり台社会からの脱出』(岩波新書)、『派遣村 国を動かした6日間』(毎日新聞社)、『派遣村 何が問われているか』、『反貧困の学校』(明石書店)ほか多数。

11.2 Mon 18:30 ~ 21:00

平和記念公園内 広島国際会議場 ヒマワリ
参加費 999円 障がい者・高校生以下無料
手話通訳・保育あり(保育は要予約)

■主催 広島県9条の会ネットワーク

連絡先 石口俊一法律事務所 082-222-0072 広島市中区八丁堀4-24-7F

■共催 ひろしま医療人・九条の会

連絡先 広島県保険医協会内 082-262-5424 広島市南区金屋町2-15